



豊前のおしごと 親子de体験隊

取材先 ▶株式会社アグリネックス

豊前市在住の親子記者が、市内の様々な企業や団体を取材した記事を掲載する同コーナー。
18回目は、永井 奈緒美さん、伶奈さん（7歳）親子です。



農業を未来へ！`豊前愛、あふれる 農家さん取材してきました♪

今回私たちは、日々農作業に励んでいる「株式会社アグリネックス」を取材してきました。手がけている農作物はお米やスイートコーン、ブロッコリー、大豆など多彩。

各家庭でおいしく楽しく食べてもらうために、どの作業工程も丁寧に取り組まれているとのこと。

お米やスイートコーンは、ふるさと納税の返礼品としても選ばれている逸品です！



▲「やった～、ブロッコリーがとれたよ！」

まずはブロッコリーの収穫体験。一つずつ鎌^{かま}を使って収穫していきます。その後は「畑の横で茎を同じ長さにカット」→「袋入れ」→「出荷」の流れとなります。食卓に届くまでの工程を知り、より味わって食べようと思いました。



案内人
代表取締役 尾家 正人さん

「皆さんの食卓に笑顔を届けるため、地元である豊前市の地でお米やスイートコーンなどの農作物の生産に励んでいます」

より働きやすくする工夫あり

広い畑いっぱいには育ったブロッコリーを、手作業で収穫していく際に活躍するのが専用の台車^{うねま}。畝間に車輪を入れて、押し進めながら収穫作業をしていきます。収穫したブロッコリーを乗せた台車を押しお手伝いをさせていただきました♪



▲「どんどん台車に積んで運んでいくよ～」

豊前の土や水には栄養がたっぷり

農作物を作るうえで重要となるのが土と水。「豊前の土は、エリアごとにさまざまな栄養分を含んでいて、農作物づくりにとても適しています。さらに水質も良いので、おいしい野菜が育つんですよ」と尾家さん。

地元の魅力を再確認することができた、楽しい取材でした♪



▲「農作業用のトラクターに乗車。迫力満点でした！」

SDGs見つけた！

未来へ続く農業を目指し、豊かな自然に恵まれた豊前においておいしい農作物づくりを目指す「株式会社アグリネックス」さん。豊前の栄養たっぷりの土や水を活かし、丁寧な作業で育てられる野菜は格別のおいしさです。作業の工夫にも熱心で、持続可能な農業を推進されていることも素晴らしいです。さらに、ふるさと納税の返礼品として全国の食卓に産品を届け、豊前の魅力を広く発信してくれています。農作物が食卓に並ぶまでにたくさんの手間と工夫があることを知り、より感謝して大切に味わいたいですね。

取材協力 (株) ニコン日総プライム NNPシリーズSDGs連載担当
水谷洋司・五代厚司・岩崎裕子・福原丸未・宮川清希

■ 取材を希望される企業・団体および取材について記事を書いてみたい親子記者を募集中。

取材先のSDGsポイント！



ポイント① SDGs目標2 飢餓をゼロに
★未来に繋がる持続可能な農業で地域の食料供給に貢献



ポイント② SDGs目標8 働きがいも経済成長も
★農業の魅力を発信し、地域に寄り添いながら地域農業を発展



ポイント③ SDGs目標12 つくる責任 つかう責任
★地域の土壌や水を活かした農作物生産により、環境にやさしい農業を実現

取材協力 株式会社アグリネックス (TEL 0979-64-7160)
福岡県豊前市大字岩屋631-2
<https://www.agrinex.co.jp/>

撮影 Juri (@juri0_902)

※撮影中の様子は「おしごとパレット」のInstagramにて公開中
Instagram ID : @oshigotopalette

